



© Yuki Asada

南アフリカに届け! フェアトレードサッカーボール

2010FIFAワールドカップ南アフリカ大会のキックオフまであとわずか。ピッチ上を駆ける直径20センチ程のボールの行方を、世界中が注目する。

現在、世界で愛用される手縫いのサッカーボールの約7割は、パキスタン製だ。サッカー発祥の国、イギリスの植民地だったことで、20世紀以降ボール製造が盛んになった。担い手の多くは、世界的なスポーツ用品メーカーの注文を受ける現地企業で、安い労働力として働く貧しい若者。中には家計を助けるため、放課後などにボール作りに従事する少年少女の姿も見られる。長さ10センチの2本の針で、数十枚の堅い皮パネルを縫い合わせる作

業は危険で手間が掛かり、1人1日数個作るのがやっと。報酬も1個10~40ルピー(約20~80円)に過ぎない。

そこで、生産者の労働環境や賃金の改善、児童労働の撲滅を目指して立ち上がったのが、フェアトレードを推進するNGOわかちあいプロジェクト。国際的なフェアトレード認証機関が、生産者の労働条件に問題がないと認定した製品にのみ使用を許可す「フェアトレードラベル」付きのボールの販売・普及に取り組む。ボール1個(2,500~4,500円程)の売り上げにつき約100円が、現地で不足する学校の建設や診療所の運営などに使われる。

ブランド名「ASPIRO」とは、ラテン

語で「努力、希望すること」。その名の通り、より良い生活を夢見てボールを作り続ける若者たちを支えている。



手縫いのサッカーボール作りに励む

問：わかちあいプロジェクト
TEL：03-3634-7809
URL：www.wakachiai.com/
フェアトレードサッカーボールはHPから購入可能。

★フェアトレードサッカーボール(4号球・練習用)を1人の方にプレゼント! 詳細は38ページへ→

